

第75回 BCP 維持管理研究会 議事録

1. 日時: 2017年 6月29日(木) 16:00-18:30
2. 場所: BCAO神田オフィス
3. 出席者(敬称略) 14名
小田、井上、大田、金子、國貞、小林、澤田、清水、守護、菅谷、高橋、柳谷、星、中谷(記)
4. テーマ

＜感染症対応＞

社員の出張や出勤ルールなどは別途決定されており、その結果に対する継続戦略を考える。
自然災害(大地震等)との違いをしっかりと理解しておく必要があります。

①事業継続の考え方

組織として業務単位に重要性を明確にして、いつまでにどのレベルで継続するのか検討するかを事前にしっかりと決めておくことが重要である。

まず、従業員の安全を第一に考えながら、社会的要求、顧客要求、契約違反、市場シェアなどを考慮し、業務別に優先順位(停止する順番)を明確に組織内で合意を得ておく。

次に、どのような方法・施策で優先順位に応じた業務が継続出来るのか、常日頃から考えておきハード/ソフト両面から対策を講じておくことが重要である。

例えば……

- ・勤務シフトの再検討
→グループ分け、少人数分割など
- ・スキルのマルチ化
→部門内で複数人養成、遠隔地社員のスキル向上など
- ・システムや情報のクラウド化
→自宅で業務、近隣事務所で対応、遠隔地事務所で対応など

項	業務内容		通常工数	業務優先度	出勤率				
	大分類	業務名			F2 81%以上	F3 61~80%	F4 41~60%	F5 40%以下	F6 拠点閉鎖
1	情報システム	監視業務	10人 (夜間3人)	A	継続	継続	継続	遅延	遅延
2		システム運用	15人	A	継続	継続	継続	遅延	遅延
3		システム開発	30人	C	継続	遅延	停止	停止	停止
4		ヘルプデスク(Q/A)	100件/日 (20人)	B	継続	継続	遅延	停止	停止
5		ヘルプデスク(トラブル対応)	50件/日 (上記含む)	A	継続	継続	継続	遅延	遅延
6	製造	A製品	2000個/日 (30人)	A	継続	継続	継続	遅延	遅延
7		B製品	500個/日 (25人)	C	継続	遅延	停止	停止	停止
8		C製品	100個/日 (5人)	D	継続	停止	停止	停止	停止
9		製品検査	20人	A	継続	継続	継続	遅延	遅延
10		出荷	5人	A	継続	継続	継続	遅延	遅延

②事業継続戦略

項	重要業務を支える業務		業務 優先度	在宅勤務 可否	継続 方針	最低 必要人数	不足人数 (最低-出勤率)	業務継続に向けた具体的対策
	大分類	業務名						
1	情報システム	監視業務	A	一部可				
2		システム運用	A	否				
3		システム開発	C	可				
4		ヘルプデスク(Q/A)	B	否				
5		ヘルプデスク(トラブル)	A	一部可				
6	製造	A製品	A					
7		B製品						
8		C製品						
9		製品検査	A	否				
10		出荷	A	否				

継続方針に応じた最低の必要人数を洗い出し、
それに必要な具体的な対応策を検討する。

5. 今後の予定

日時：7月19日(木)15:00~17:00

内容：災害時における情報共有の重要性

講師：インフォコム) 高橋氏

場所：東芝 会議室

以上